

個別目標 2-2 | 首都空港『羽田』と臨海部が世界への扉を開く、国際交流拠点都市を創ります

施策 2-2-2

未来につながる臨海地域をつくります



【10年後のめざす姿】

- 交通網の整備と快適な環境づくりが進み、空港を活かした多様な産業の集積拠点となっています。

【10年後のめざす姿にどれだけ近づいたかを測るモノサシ(指標)と目標値】



| モノサシ(指標) | 現 状 | 25年度 | 30年度 |
|------------------------|--------------------|--------|--------|
| 臨海部に立地する事業所数(社)* | 1,622社 (平成16年度) | 1,650社 | 1,700社 |
| 臨海部が身近になったと感じる区民の割合(%) | — | 25% | 30% |

*事業所・企業統計調査により算出します。対象地域は、平和島・昭和島・京浜島・東海・城南島・羽田空港です。

【現状と課題】

大田区臨海部は、昭和42年の平和島、昭和島の竣功を皮切りに、京浜島、城南島、東海、羽田空港沖合展開事業*が次々に竣功・形成され、基盤技術*産業を中心としたものづくりの集積拠点、首都圏有数の流通業務の拠点、羽田空港による首都圏のゲートウェイ*としての機能を担ってきました。

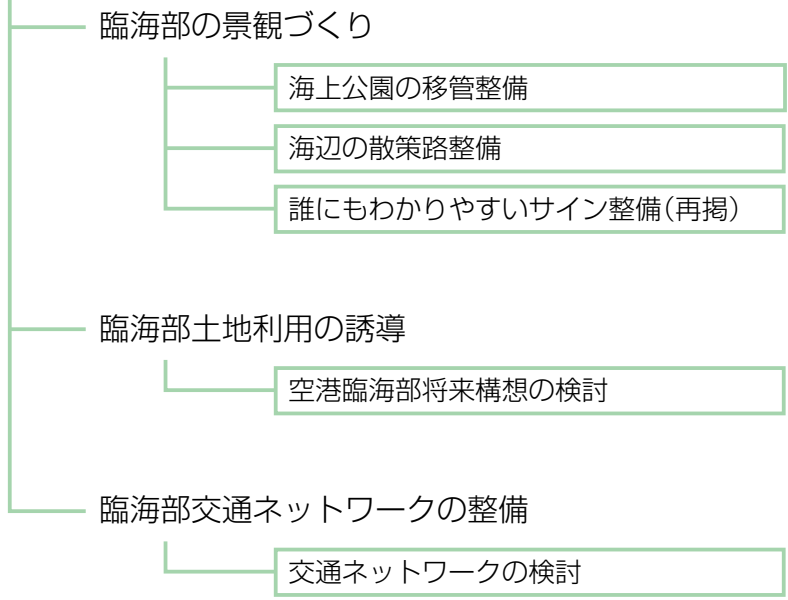
産業を取り巻く社会情勢が大きく変化する中で、工場の転廃業が加速し、その工場跡地には、物流関連事業所や空港利用者向けパーキング、産業廃棄物処理事業所等の立地が進んでいます。また、従来からの通過交通*の混雑に加え、物流関連事業所を中心に大型車両の交通量も増大し、臨海部における交通渋滞は激しさを増しています。

平成22年10月末に予定している羽田空港の再拡張に伴う新滑走路の供用開始、空港跡地の活用等の周辺環境の変化を踏まえ、臨海部における土地利用の方向性、交通ネットワークの整備、地域特性を活かした景観形成など、総合的な再編整備を進めていくことが重要となっています。

【施策の体系】

枠で囲んである事業は、その主な取り組み内容を次ページ以降で紹介しています。

未来につながる臨海地域をつくります



国内外の都市を結ぶ 羽田空港



大森ふるさとの浜辺公園

【 施策の方向性と主な事業 】

①臨海部の景観づくり

臨海部におけるみどりの拠点やレクリエーションの場を創出するための公園整備、また、内陸部や臨海部の水とみどりの拠点を有機的に結ぶ緑のネットワークとしての散策路整備など、海辺の自然と共生し、羽田空港や既存市街地などの都市景観とも連携した景観づくりを進めます。

| 計画事業名 | 海上公園の移管整備 | | | | | | |
|--------------|--|----|----|----|----|----|-------|
| 主な取組内容 | 臨海部にある公園のあり方や整備内容について検討を行うとともに、東京都港湾局所管海上公園の移管や再整備を進めます。 | | | | | | |
| | (平成/年度) | 21 | 22 | 23 | 24 | 25 | 26～30 |
| 臨海部公園整備計画の検討 | | → | | | | | |
| 港湾局移管公園の整備 | | | → | | | | 継続 |

| 計画事業名 | 海辺の散策路整備 | | | | | | |
|------------------|---|----|----|----|----|----|------------|
| 主な取組内容 | 海老取川から平和島運河周辺、さらに京浜運河周辺など、臨海部の埋立地を結ぶ緑のネットワークの形成を図るため、水とみどりの拠点整備や散策路整備の検討を行い、関係機関と協力しながら整備を進めます。 | | | | | | |
| | (平成/年度) | 21 | 22 | 23 | 24 | 25 | 26～30 |
| 臨海部における散策路のあり方検討 | | → | | | | | |
| 散策路計画及び整備手法の検討 | | | | → | | | 散策路・拠点整備検討 |

| 計画事業名 | 誰にもわかりやすいサイン整備(再掲) | | | | | |
|-------|--------------------|--|--|--|--|--|
| | →詳細は、P68を参照してください。 | | | | | |

②臨海部土地利用の誘導

製造業や物流、環境関連施設など臨海部における産業のあり方、空港や港湾に隣接する立地特性を活かした土地利用の方向性を示す臨海部の将来構想を策定します。さらに、将来構想に基づいた土地利用の誘導を図り、新しい都市の活力を創出します。

| 計画事業名 | 空港臨海部将来構想の検討 | | | | | |
|-----------------------|-----------------------------------|----|----|----|----|-------|
| 主な取組内容 | 臨海部の将来構想を策定し、構想に基づいた土地利用の誘導を図ります。 | | | | | |
| (平成/年度) | 21 | 22 | 23 | 24 | 25 | 26～30 |
| 空港臨海部将来構想の検討、策定 | → | | | | | |
| 空港臨海部将来構想に基づいた土地利用の誘導 | | → | | | | 継続 |

③臨海部交通ネットワークの整備

拡大する臨海部の交通需要に対応するため、道路網及び公共交通機関の改善や新しい公共交通システムの整備に向けた検討を進めます。

| 計画事業名 | 交通ネットワークの検討 | | | | | |
|---------------------------|---|----|----|----|----|-------|
| 主な取組内容 | 臨海部の交通ネットワークについて、観光的側面も考慮しながら、道路網、公共交通機関、舟運を含めた新たな交通システムの検討を進めます。 | | | | | |
| (平成/年度) | 21 | 22 | 23 | 24 | 25 | 26～30 |
| 空港臨海部将来構想の検討、策定 | → | | | | | |
| 空港臨海部将来構想に基づいた交通ネットワークの検討 | | → | | | | 継続 |



東京湾上空から見た大田区臨海部